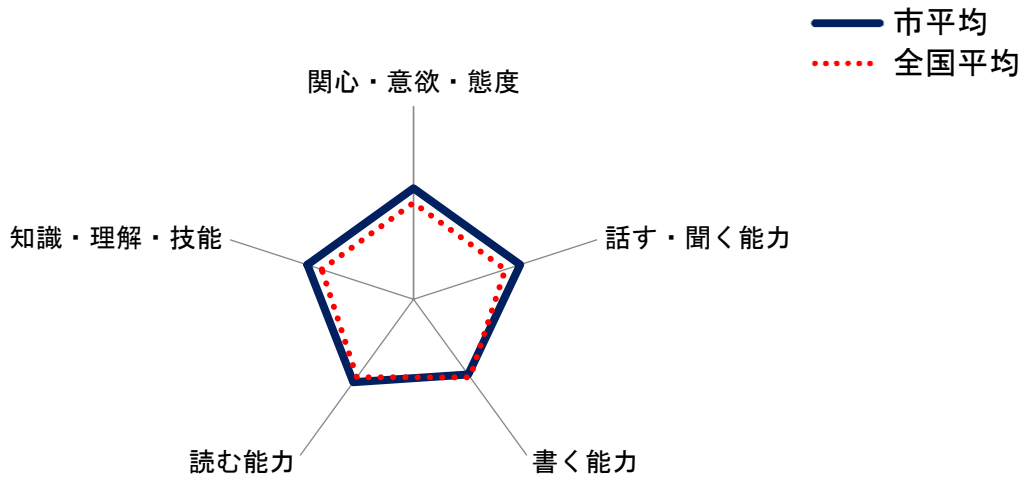
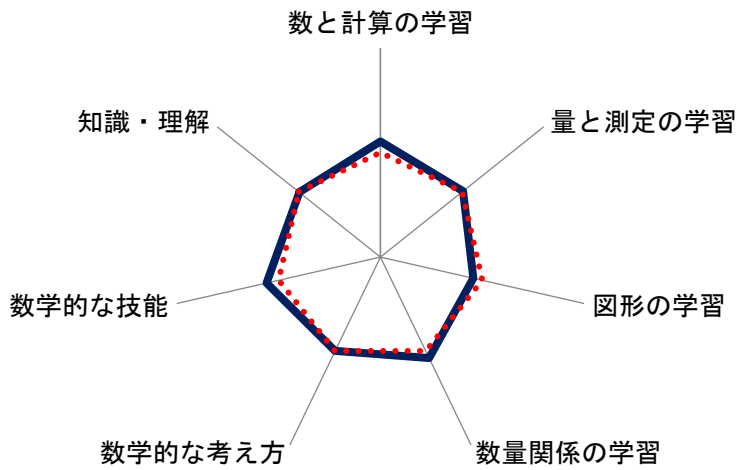


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

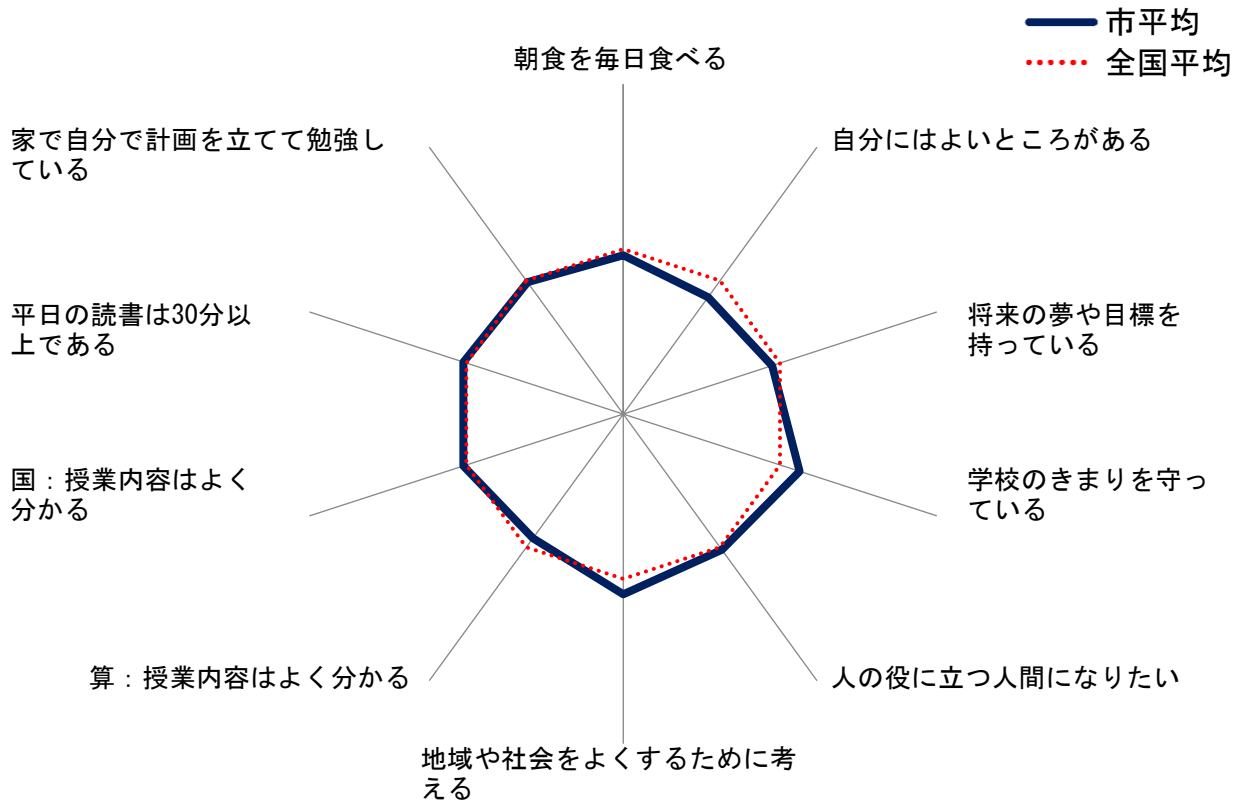
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数ともに全ての項目が全国平均とほぼ同じか上回っている。今後も引き続き、更なる学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、各教科における知識と活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている多くの項目が全国平均とほぼ同じである。「地域や社会をよくするために考える」の項目が昨年と比較して、大きく上回っており改善が見られた。しかし、「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」の各項目が全国平均をやや下回っており、自尊感情や自己肯定感が低い傾向があるので、進んで自分の生活をよりよくしていこうとする児童の育成に、学校と家庭、地域が連携して取り組むことが望まれる。